

平成28年度 美術基礎 シラバス

教科名	美術基礎	単位数	2単位	対象学科・学年	普通科・園芸科 3年生
			担当	印	

1 学習の目標

- ① 基礎的な技術力と表現力を中心として、創造的な表現の楽しさを学ばせる。
- ② 自分の心に描いたイメージを絵画、彫刻、デザインを通して、美的直感力や創造的な発想力、構想力を一層伸ばし、創造的に表現する。
- ③ 美術作品のよさや美しさ、作者の心情や表現意図、現代の美術や伝統的な美術及び地域の美術の特質などを感じ取ったり、理解したりして、感性や美術を愛好する心情を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習領域	指導内容	評価方法	時配
1 学期	4	オリエンテーション	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持たせる。 ・提出物、テスト、授業態度を総合して評価を行うことを説明する。 	作品 観察 感想 自己評価 相互評価 作品 感想	1
	5	鉛筆デッサン	素描 絵画	<ul style="list-style-type: none"> ・光と影の強さ、淡さ、コントラストなど、描こうとする対象のよさや美しさなどを追求させる。 		4
	6	鑑賞（点描表現）	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・点の集まりによって色や形が作られる作品のよさについて理解する。 		2
	7	砂絵	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・砂の特徴を生かすためのデザイン画を考える。 ・細かいところに捉われず、大きな流れとして表現できるようにする。 		1 3
2 学期	9	鑑賞（ポスター）	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のポスターの共通点や相違点について、気付かせる。 	自己評価 相互評価 作品 感想 自己評価 相互評価 作品 感想	1
	10	ポスター制作 （学校行事）	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・意図に応じた表し方、色彩、形体、文字、材料や用具、制作方法を工夫する。 		1 0
	11	鑑賞（水墨画）	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の心情や意図、表現の工夫などを読み取り、そのよさや美しさなどを感じ取る。 ・水墨画の歴史を理解する。 		1
	12	水墨画	絵画	<ul style="list-style-type: none"> ・技法の種類に関心を持ち、基本的な運筆を理解する。 ・見る人や使う人の立場に立って、カードの用途や目的を考える。 ・造形的な美しさと調和を考えてデザインする。 		1 4
3 学期	1	紙ねんどストラップ	彫刻	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻と彫塑の違いや特徴について理解する。 ・目的や用途に合わせて色や形を考える。 	作品 感想 自己評価 相互評価	1 1
	2	鑑賞 （久米島の美術・工芸）	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の美術作品や工芸品から美しさや機能美について気づかせ、郷土を愛好する心情を育てる。 		2
	3	学習のまとめ	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表する。 		1

3 評価の観点、内容及び評価方法

美術への関心・意欲・態度	①美術を愛好し、学習する意義を理解して、表現や鑑賞の活動を積極的に行っているか。 ②個性を生かして表現方法を工夫し、主体的に制作に取り組んでいるか。
発想や構想の能力	①感性を働かせて、対象をよく観察し、自分の目で見、感じたものを創造につなげようとしているか。 ②物事に対して新しい発見をしようという姿勢や、独創的な考え、柔軟な考え方で表現の工夫をしようとしているか。
創造的な技能	①示された技法を利用するだけでなく、用具や材料を適切に使い、制作意図や表現に合わせた工夫をしているか。
鑑賞の能力	①美術作品や作者、歴史について幅広く理解しようとし、その良さや美しさを味わうことができるか。 ②自分や友人の作品の良さや表現の工夫を味わうことができる。
以上をふまえて、具体的には次のものを評価の対象とする。 ①学習の取り組む姿勢、授業態度、発言、準備とかたづけ。 ②制作した作品（完成度、自己評価、制作しての感想など） ③鑑賞プリントの内容	

4 担当者から

よく、「絵が上手な人・才能がある人しか美術でいい成績をとることができない」と、思われがちですが、技術的に上手な作品だけが大事だと思っていないですか。美術の学習では、自分の思いや願いを色や形で思ったように表現したり、自分から進んで鑑賞したりすることを通して、美術が好きになり、ものをよく見たり、感じたり、想像したり、鑑賞して味わったりする中で、豊かな心や感性をもち、創造的な表現技能と美的直感力や創造的発想力を身につけることができます。

いろいろやってみる中で、自分らしいものを発見し、自分にしかできないような表現を追求することが大事なことです。